

ひみこちゃん

記紀万葉の地を訪れる - その6 -

ホケノ山古墳は、全長約 80m の前方後円墳で、纏向遺跡のなかの纏向型前方後円墳と呼ばれる種類の古墳の中では、葺石と呼ばれる古墳の表面が石で覆われた唯一の古墳なんだって。古墳時代初期の 3 世紀中ごろに築かれたと見られていて、日本で最も古い部類の前方後円墳の 1 つなんだよ。



ホケノ山古墳は、広報 9 月号で紹介した「箸墓古墳」から東へわずか 300 m のところにあるよ。

埋葬された人は確定されていないけど、「石囲い木槨」という日本で初めて確認された特殊な構造を持った埋葬施設が見つかって、とても貴重な発見だったよ。



(提供: 橿原考古学研究所)

埋葬施設の復元



ホケノ山古墳の前方部分に木棺と壺棺が出土して復元されているよ。



今回は、市民目線で「桜井のとっておき」を選んだ「大和さくらい 100 選」の中から、桜井市箸中にある「ホケノ山古墳」に行ってきたよ～。



古墳の頂上も登ってきたよ。ここから広がる纏向遺跡の眺めは素晴らしいの一言。「大和さくらい 100 選」では、とっておきの「ビューポイント」に選ばれているよ。



「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課 (☎ 42 - 9111 内線 348)

twitter @himiko__chan

【観光まちづくり課】